



岩江中だより

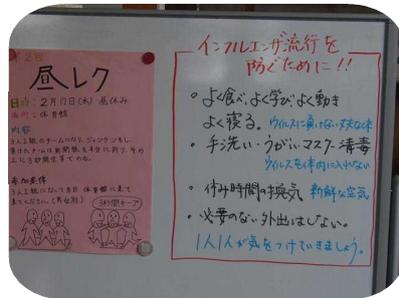
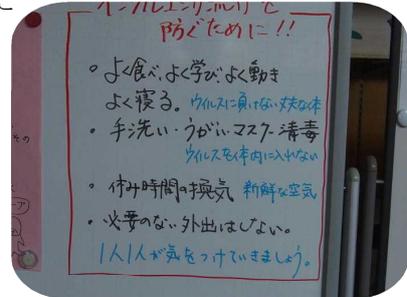
第 41 号
 発行日：平成 28 年 2 月 5 日
 発行：三春町立岩江中学校
 電話：0247-62-8290
 FAX：0247-62-8380
 E-mail:school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【『協働』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～ ～すぐに動きます！～】

インフルエンザの季節。先日、養護の先生と、「日頃の予防をしっかりして、それでも、一人でもインフルが出たらすぐに動こうね。」と話しました。出ました。感染拡大防止のために、教頭先生が連絡・調整役を担い、教務主任が昇降口のホワイトボードにインフル対応について記入・連絡、養護の先生が具体的対応のために機器や薬剤を準備、給食の時間には全生徒に具体的対応等について指示、各学級担任が養護の先生と共に、各教室で作業、折から、予定されていた対外行事の内容変更、生徒会の保健委員会も動き、うがい・手洗い・換気等の感染拡大防止活動に着手など、学校全体が教頭先生の連絡・調整のもと連動して、協働いたしました。おかげさまで、インフルの生徒も学校に復帰し、現在のところインフルエンザ罹患者「0」。岩江中学校の子どもたちと先生方のすばらしさを校長として誇りに思います。

もう一つ、疾病予防には、何より日頃の健康管理が欠かせません。毎日、調理員さんたちによって出されるバランスのよい、おいしい給食。その調理員さんたちの温かな心のこもったおいしい給食を子どもたちは毎日いただいています。食べ過ぎには注意しなければなりません、「バランスのよい食事」も疾病の防止や体の抵抗力づけ、病気に罹った時に持ちこたえる力のためには欠かせません。そんなところでも岩江中学校は「協働」しています。何より、そこで生活するみんなが、自分のことと同じように相手のことも考えられるようになること、今回のインフル対応を経て、そんな学校にまた一步近づいた気がします。



【今、このようなことに視点をあて、年度のまとめに取り組んでいます！】

みなさまにご協力いただいた学校評価アンケート。その結果を受け、残り2ヶ月、残った課題については以下のように検討・確認・実施してまいる計画です。あと2ヶ月。最後のまとめとして、さらに意識をもって学校の諸活動に取り組んでまいります。ありがとうございました。

〈残り2ヶ月の取り組みについて ～共通理解・実践と相互努力の視点から～〉

1. [学校経営評価より]

課 題	共通理解・実践	相互努力
☆ 『私にはこれがあります』	学活等で、「あなたが自慢できることは何ですか。」の問いかけを生徒に行う。『行動の記録』や『学級経営誌』に記録する。	同意、賞賛、励ましの言葉を用意する。
☆ 教育の専門家としてのプライド	1年間の実務・研修の成果と課題について『自己評価シート』を活用し整理する。	「現職教育」の成果と課題を確認する。
☆ 教師の前向きな生き方「Next One」	『自己評価シート』の実績評価と能力評価の観点により、自己課題を明確にする。	自己課題解決の具体策を立て実践する。

II 【学校評価アンケート教職員編より】

課 題	共通理解・実践	相互努力
<p>特別支援教育 No.16 生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導に努めている。</p> <p>組織運営 No.22 校務の分担が適切で集団として適切に機能している。</p> <p>保護者との連携 No.31 ノーディスプレイ運動に家族で取り組んでいる。</p> <p>「自立」No.35「真理」進んで学習、真理の美しさを追究する生徒である。</p>	<p>卒業時や将来を見据え課題となることはという視点で学習状況を把握する。</p> <p>仕事分担について確認し負担過重を考慮する。</p> <p>ノーディスプレイ運動の活動をさらに推進する。</p> <p>学ぶことの意義を再確認する。</p>	<p>把握した課題を子どもたちに伝える機会を設定し、共に体制づくりを進める。</p> <p>校長は仕事分担の整理、再編に取り組む。</p> <p>連携のもと家庭においても実施する。</p> <p>家庭と共に「真理」を確認・追究する。</p>

III 【学校評価アンケート保護者編より】

課 題	共通理解・実践	相互努力(当事者と対象者)
<p>教育課程自由記述から トイレの清掃は洗剤を使用し、掃除のやり方も教えてほしい。わかりやすい授業。専門の先生による食育や薬物乱用防止、SNSなどの指導。</p> <p>生活指導自由記述から 靴をそろえる。あいさつする。良いこと、良くないことをはっきりと伝えて。スリッパをそろえる。時間を守る。その子の良いところを見て真剣に向き合ってほしい。言葉遣いによって傷ついている子どもがいる。</p> <p>生活指導 No.11 お子様は、早寝・早起き、朝食をとるなど、規則正しい生活を心がけている。</p> <p>保護者・地域との連携 No.18 ノーディスプレイ運動の趣旨を理解し、家族で取り組んでいる。</p> <p>その他の要望等 4・5月に家庭訪問を。携帯のない生徒の家庭への連絡する場を整えてほしい。練習試合などは早めに連絡いただきたい。岩江中だよりをカラー写真に、経費削減のためにも各家庭1部ずつでよい。朝の通勤時、送迎車が多く迷惑している。長期休み、放課後、補習授業などをしてほしい。個々に合わせた発言・態度に努めて。放課後、残って勉強することを認めてほしい。下舞木は街灯が少ない。平等に接してほしい。</p>	<p>『私にはこれがある』のためさまざまな視点から生徒一人ひとりを見つめ直し、生徒を認め、取り上げ、励まし、全体に周知する。</p> <p>集団の一員としての意識と態度について指導する場面を確保する。また「チクチク言葉」をなくし「あったか言葉」の実践者となる。</p> <p>掃除の仕方や早寝・早起き・朝ご飯等について家庭と連携を図り指導する。</p> <p>さまざまな情報伝達方法で家庭との連携を図り、規則正しい生活の意義、ノーディスプレイの効果などについて具体的に連絡する。</p> <p>家庭訪問の意味を再確認し、実施の有無を検討する。</p> <p>街灯の少なさや送迎の多さについては、学校運営協議会の話題としても提案し、意見をうかがい、具体的対応について検討する。</p> <p>その他の要望等にも一つ一つ検討を図っていく。</p>	<p>『行動の記録』や『学校・学級だより』の他、各種たよりを発行し、認め、励まし、周知する場を積極的に設定する。</p> <p>各種学年行事や生徒会活動、学級活動等で、集団の在り方について指導する。</p> <p>その際、相互努力の必要性に視点をあてた指導を共通指導内容とする。</p> <p>人への思いやり自尊感情の確立、集団生活の向上の視点で『整理・整とん』の励行を指導する。</p> <p>『保健だより』『進路だより』『学年・学級だより』等へ規則正しい生活の意義やノーディスプレイ運動の効果などを掲載する。</p> <p>自校の地域訪問の実施の様子について保護者に伝える機会をもつと共に、積極的に来校していただく旨も懇談会等で伝える。</p> <p>『岩江の教育を語る会』にも話題として出し、話し合う。</p>

IV 【学校評価アンケート生徒編より】

※ 紙面の都合上、生徒アンケートについては生徒と共に考え、取り組んでまいります。

V 【『本校における積極的な生徒指導』より】

1 生徒の内面に訴える指導の継続

【社会で通じる人間をめざす岩江中生3つの習慣】

① 生活を自己管理 ② 新しい自分『私にはこれがある』 ③ コミュニケーション

【相手を認め、尊重し、「共に」成長できる学校づくりのために】

～「チクチク言葉」から「あったか言葉」への4つの成長～

① 困っている人は助け守る！ ② すべての人が「あったか言葉」遣いの実践者！
③ 「ありがとう。」と伝える！ ④ 相手と「共に」成長できる学校！

2 今後の課題

心のこもったあいさつ『いつでも、どこでも、ひとりでも』